

## みんなで「協働」生活を体験

▲▲中山小通学合宿▼▼

7月3日から9日まで、中山小の4～6年生19名が参加した通学合宿が中山公民館で行われました。

家庭から離れ、地域の人とふれあいながら生活をする通学合宿では、子どもたちが協力しながら自分たちで生活体験（掃除・炊事など）するこ

とで、自立心やお互いの立場を理解し助け合う心をこの1週間ではぐくんできました。

今年新たな取り組みとして「そのとき自分たちにできることは？」というテーマで東日本震災を事例にしてグループで意見を出し合い最終



▲自分の思いをそれぞれ発表しました

日に班ごとに発表してもらいました。

また、通学合宿には、子どもたちの主体的な活動を支援する立場で、地域の大人たちの協力がかせません。個人のお宅でお風呂に入れてもらう「もらい風呂」や食事づくりの指導など地域の大人たちが支援することをおして、子どもと大人のふれあいだけでなく、地域のコミュニケーションもいっそう深め、みんなで「協働」生活の体験をしました。

名和・大山地区も2学期に通学合宿を実施します。

「下市川環境保全の会」が下市川の除草作業を7月10日（日）に行いました。



## みんなの力で 下市川を きれいに

動を実施しています。

下市川は2級河川で、農地用水や洪水の防止としてだけでなく、盆には川で仏さん送りの行事『まんどい』を行うなど、下市集落にとって昔から生活に深く関わっている大切な河川です。

下市の若者を中心として平成21年に結成された「下市川環境保全の会」。今後も、土木施設愛護ボランティア団体活動促進制度事業を活用して下市川を保全し、誰もが親しめる川として大切にしていこうとしています。



▶除草作業に汗を流す下市川環境保全の会の皆さん

町内では他にも14の組織がこの事業を活用して活動しています。



▲職場体験中の杉原さん（右）

## 「将来の目標に役立てたい」 高校生が職場体験

庄内保育所



7月12日～14日の4日間、庄内保育所で高校生が職場体験をしました。職場体験をしたのは、米子高校2年生の杉原知佳さん（富長東）。

「私は看護の仕事につきたいと思っています。小さい子どもに関わる機会を持つことも将来の参考になるのでは」と、保育園を職場体験の場に

選びました。保育園は楽しいことばかりかと思っていましたが、大変なことも多いですね。」と話していました。

取材をさせていただいた日、年長児クラスのプール活動の補助をしていた杉原さん。子どもたちとも、すっかり打ち解け「おねえちゃん先生」と呼ばれていました。